

LIONS CLUBS INTERNATIONAL  
DISTRICT 330-A

2021 June Vol.6

# LIONS NEWS





災害も毎年あり、新型コロナも蔓延拡大が止まらず、先が読みにくい  
反射神経的に対応していかなければならない時代になったと思います  
大切なのはそれぞれの「人」、「クラブ」だと改めて感じました。

P7 埼玉県知事 大野元裕氏対談記事より抜粋

## CONTENTS

01□	副幹事団座談会	12□	ご意見伺い隊一年間の軌跡
04□	特集：With Covid-19 Part-3	20	キャビネット報告 委員会報告
08□	クラブアクティビティ	21□	1年を振り返って 2020-2021 広報・IT・クラブサクセス委員会





## 副幹事団座談会

2021年5月14日 西新宿平田ビル3F会議室

今期は副幹事7名、一人が2リジョンと3つの委員会を担当するスモール副幹事団であった。進藤ガバナー自身の経験があつての人数構成であった。実際今期務めた方々は副幹事として一年をどう感じたのか、コロナ禍で二転三転する状況をいかに切り抜けたか、実状を聴く。個人的なやりがいやアドバイスを直接聞き、来期そして今後、副幹事になるメンバーへエールを贈ってもらうため、座談会を開催した。



L 武内 正行  
東京新世紀 LC



L 増淵 秀一  
東京白門 LC



L 佐々木 重行  
東京江戸川 LC



L 清水 ゆきの  
東京世田谷 LC



L 湯沢 久美子  
東京光が丘 LC



L 阿部 清彦  
東京新宿 LC



L 太田 章文  
東京桑都 LC

■今期の副幹事団は少人数でしたが、少人数のメリット・デメリットは何か感じましたか？  
**「少人数でコミュニケーションが取りやすいメリット」と感じています。**  
 L武内 スモール幹事団ということで当初は大変だねと色々な方から言われたが、一切のデメリットを感じませんでした。副幹事団が七人だからこそ連帯して集まりも良く、良かったのではないかと思います。  
 L増淵 担当する委員会が多く出席できない時間も多かったのですが、少人数ゆえの団結力があつたと思います。リモート会議ツールも今まで使用していませんでしたが、参加するうちに慣れることが出来ました。  
 L佐々木 人数が少ないことで纏まりが出来て良かったです。活動は実際きついとは思いますが、今年もコロナ禍だったので、側面もあつたと思います。遠方の人にとつてもZoomに参加で例年よりは負担が少なかったのではないのでしょうか。  
**「SNSの活用で情報共有」が速やかにできました。**  
 L湯沢 殆どの会議はZoomで特に困ることとはなかったです。日常のやり取りについても、LINEで円滑かつ迅速にレスポンスの良いやり取りが出来、皆で団結して取り組めたと思います。  
 L清水 デメリットは感じませんでした。大人数だと派閥などができる場合があり、7人がちょうど良く、楽しくみんなでサポートしようという空気が常にありました。幹事団をやることで一年の流れや知らなかった名称の意味など、LCのことが深く理解でき良かったです。

■みなさん以前からある程度、デジタル・ITの知識はあったのででしょうか？  
デジタル・IT初心者からコロナ禍が追い風！？今は成長と進歩を感じてエキスパートへ。

■清水最初の頃はほとんどパソコンが出来ませんでした。少人数だけに議事録作成がよくまわってきて、やっていくうちに修正が少なくなり成長を感じることが出来ました。

■阿部 機械音痴でLINE電話がアップデートしなければならぬ状態からのスタートでしたが、多少進歩出来たのはコロナ禍の副産物でした。

■太田 八王子市からは新宿は遠いので、幹事団会議をオンラインで出来たことは良かったです。

■コロナウイルス感染拡大の中、キャビネットとクラブ、委員会を繋ぐ運営面で特に工夫されたことは何ですか。また、緊急事態宣言、解除、まん延防止と二転三転する状況で、年次大会開催へ向けての準備や、当日の成功・失敗談など、ここだけの話をお聞かせください。

■年次大会では「しっかりとした役割分担」がされて運営し易かった。

■佐々木 三役が一番苦労したと思います。今年ほど年次大会委員会にガバナーと幹事が毎回に出てくる年はないと思います。副幹事は役割分担も決まっております、自分たちがやることだけしっかり出来ていれば良かったので、拘束時間も例年より短かったです。今年から年次大会の代議員会は身分証明書の提示



が必要になり、全クラブ会長にその旨を電話で伝えることが一番苦労したことになるかもしれないが、関係者全員の協力でスムーズに、密集、トラブルもなく行うことが出来たと思います。

■太田 方針などは幹事団で決めたが、きちんと三役に確認し、副幹事団の意見(例えばZoom会議推奨)など耳を傾けて頂いた。幹事団会議の日程も第一・第三金曜日十五時半・十八時と、第二・第四土曜日の午前中というようにしっかりと決まっていたのでスケジュール調整もスムーズでした。

■委員会各自担当した役割で、やりがいがあったことは何でしょうか。またご意見伺い隊との連携はとれていましたか？

■エクステンションは「雑談から成功、クラブ・支部誕生」を体験。

■阿部 ご意見伺い隊については、隊員と交わることは多くはありませんでしたが、330・A地区ホームページ「ご意見伺い隊」の記事を見て、上半期熱心な隊員が多かったように思います。法人運営委員会ではとても高度な内容で、副幹事というよりガバナーと幹事が積極的にかかわる重要事項ばかりだったため、あまり役に立てなかったように思います。エクステンション委員会では、雑談から本当にクラブや支部が生まれるなどエクステンションの実績に繋がった経験を体感しました。  
■東京タワーオレングリボン大作戦！「地域企業との協力関係があつてこそ」実現した。

「L湯沢二〇二〇年十一月に行われた「東京タワーオレンジリボン大作戦」では委員会の皆様と毎日何度もやり取りするほど大変でした。小池都知事が来場されるか否かは直前まで分からなかったのも、連絡を密にしました。池田委員長・委員会メンバーや東京タワーさんの協力があって出来たことだと思えます。江戸川区の船堀タワーもオレンジ色になりました。

L佐々木「ご意見伺い隊はガバナー直轄アクティビティと理解しており、幹事団会議で報告を受けておりました。委員会はやる事が決まっています。委員会が多かったので、スムーズに進めることが出来ました。

オリンピック開催に向けての準備が進んでいます。

L増渕 ITを駆使し、セミナーなど開催し大変活発的に動いていた委員会もありました。オリンピック・パラリンピック支援委員会は、オリープの木の贈呈・オブジェの贈呈・障害者児童のオリパラ招待など実現できるようにと毎回協議を進めてました。

ご意見うかがい隊は進藤期の目玉政策です。

L武内「ご意見伺い隊は進藤期の目玉政策です。クラブのことだけでなく、様々なライオンの気持ち、考えを広く聴くことが出来て個人的にも勉強になりました。今後も続けていくと良い仕組みなのではないかと感銘を受けました。薬物乱用防止とYCE委員会はメンバー全員の意見を聴いてから決める、そして会員

増強委員会はコロナ禍の退会防止の取り組みなど、各委員会熱意をもって取り組んでいました。

■来期、また今後副幹事を担うメンバーの方々にアドバイス、エールを贈って頂けませんか。

またLC活動の良いところは何かと思えますか？

エール…「人との繋がりで進化させてくれる機会（opportunity）でいっぱいです！」

L太田「いろんな人と繋がれる事がライオンズクラブの最大のメリットだと思います。担当した委員会に、副幹事が育ててもらえる」ので、副幹事は勉強になります。

L清水「いろんなメンバーと出会い、今まで知らなかった事を得ることが出来ます。他の委員会・クラブの方と会う機会が多く知り合いが増えるので、どこに行っても『ホーム』感があり楽しく、「二歩踏み出すと色々な方々と会える環境」が造られます。

L湯沢「LCメンバーは年齢・職種・性別も多種多様で、同じテーブルで話が出来る、色々な会議に出席する事で「自分自身も変化し、チャンスが生まれてくる環境」であると思います。

L佐々木「副幹事はガバナーの手となり足となりお手伝いが主な役割であると思います。LCは色々な方と出会える素晴らしい場所です。

L増渕「次期の副幹事は十四名と聞いていますので、今期と比較して担当が減り楽になると思います。大勢の副幹事

がいるので仲良くなれる人数も多いと思います。『異業種のメンバーが集まって交流ができ生きた情報も多く、勉強になる場所』です。

L武内「ガバナーの意向・情熱を感じ、手伝うことのできる立場だと思います。いろんな人と出会える一方、ボランティア・奉仕は大変ですが人間形成・自分の成長につながると感じます。

L阿部「広く浅く、いろんな人と関わるポジションです。リジョンチェアパーソン・ゾーンチェアパーソンともいろいろな経験が出来ます。自分のクラブやゾーンがどのようにみられているか、新たな発見があったりするので、自クラブに大きく成長して戻ることができると思います。



### 坂本委員長 考察

各ガバナー期に7-14名の副幹事が毎年各リジョンから選出され、7月1日から翌年6月30日迄の1年間をガバナーを中心としたメンバー構成で、キャビネット運営に関わります。1年を通して「同じ釜のご飯を食べた仲」はライオンズ活動はもとより、各場面で繋がりを持つ大切な仲間となるでしょう。是非、多くのメンバーに副幹事のやりがいのある職責を味わって頂きたいと思えます。

### ファシリテーター L 赤尾嘉晃から

近藤 G 期の 2016 年 4 月 30 日に当時の副幹事へ「年次大会」将来への展望というテーマで座談会を行った。  
[https://330a.jp/wp-content/uploads/2019/09/news\\_1606h.pdf](https://330a.jp/wp-content/uploads/2019/09/news_1606h.pdf) (P8-P9)に掲載。少人数で今回と同じような雰囲気皆仲が良く、助け合いその時のキャビネット幹事が現在の進藤 G でした。その成功体験をコロナ禍の難しい時期にあてはめ、スモールキャビネットを実践し、デジタル化にも対応した今期の副幹事の皆さんの達成感をチームワークの証、みな笑い声とともに感じた座談会だった。益々の活躍を期待したい。

# 特集：With Covid-19

Part-3

## 330-A 地区 進藤義夫ガバナー、埼玉県知事 大野元裕氏 対談

2021年5月26日 於 埼玉県庁知事室



対談：330-A地区 進藤 義夫 G、埼玉県知事 大野 元裕氏

コメンテーター：L 江端 貴子 (330-A地区キャビネット幹事)

ファシリテーター：L 赤尾 嘉晃 (広報・IT・クラブサクセス委員会アドバイザー)

ムービー撮影：L 坂本 純一 (広報・IT・クラブサクセス委員会委員長)

スチール撮影：L 吉岡 晋 (広報・IT・クラブサクセス委員会アドバイザー)



<https://youtu.be/D0pG8ZROWnc>

**開催までの経緯** 大野元裕氏は、H22年(2010年)、330-C地区ガバナー時代に330MDの若手ライオンの育成の為、ファシリテーター研修を開催。その当時参加した330-A地区の若手3人の中の一人が現在の進藤ガバナー(以下G)でした。研修の内容は後述いたします。その研修会から約10年の時を経て、講師は埼玉県知事に、受講者の一人は330-A地区のGになりました。この10年間、東日本大震災、熊本地震、大型台風被害などの自然災害が頻繁に起き、昨年2020年には新型コロナ ウイルスが世界中で蔓延して交流移動の制限、経済活動の停滞で新しい生活様式への対応を迫られ、市民の価値観が激変しました。そんな中、ライオンズクラブの従来型のアクティビティ(イベントなどで多くの人を集めての情報の発信等)開催が難しくなっていました。

**目的** 今回の対談は、様々な政策で先手を打ち、「誰一人取り残されない社会を築くこと」を目指している大野元裕知事とアクティビティコンペティションを新しい手法(リモート)で開催、成功に導いた進藤義夫Gに、市民の地域への新しいかかわり方や、通勤や仕事環境の変化に対応していく、近未来の奉仕・ボランティア団体のありべき姿、将来の展望をそれぞれの立場からお話しいただく為に対談を行いました。

## 対談のコンテンツ

- 1 リーダー(知事・G)になると決意したきっかけや、出来事をお話してください。
- 2 今変えた方がよいこと継承した方がよいことは。
- 3 COVID-19で一極集中から分散へ、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)が加速しました。DXが地域、家庭にもたらす変化は。
- 4 職住接近の社会で必要となるボランティア活動とは。
- 5 誰もが参加しやすい理想のボランティア活動とは。  
人々の意識を変え、ゆくゆくは制度の変化にもつながる奉仕活動とは。
- 6 行政とボランティアとの連携、ライオンズの未来。



① リーダー(政治家・G)になると決意したきっかけや、出来事をお話してください。

大野氏(以下O) 政治家になるきっかけは・・・私は中東の専門家で当時の防衛庁の防衛戦略委員会に所属し、防衛大綱(安全保障の憲法の様なもの)の起草と、評価を五〇六年行いました。防衛大綱が防衛庁所管の装備品(車両など)と隊員の人数を決定することに主眼が置かれており、省庁を超えた安全保障(国民の命を守ること)が縦割り行政の弊害で、難しいと感じていました。そこで縦割り行政の打破を掲げていた民主党に参画し、政治の世界から人の命を守りたいと考えたのが、政治の世界に飛び込むきっかけです。

進藤G(以下SG) 世田谷LCが日本で初めての東京LCの直系子クラブで、Gを輩出していなかった。私が入会した年に世田谷は四十五周年を迎え、式典でクラブの目標としていづれGを輩出すると宣言し、他人事のように聞いていました。入会した年に実施したアクティビティで、世田谷区内の作業所群へ声を掛け、ライオン誌の封入作業を行いました。当日作業ができる障がい者が各所から集まって封入作業を行える環境を整えました。LCが、区内の作業所ネットワークの構築に貢献していて素晴らしいと思ったが、知人にその良さを伝えるのは苦労しました。成果を多くの人へ発信、見せることのインパクトが大切と思い知り、これを当時のSNSライオンネットに発

信したところ、全国の仲間から「そこまで考えたならGになるしかない」とのメッセージを数多く頂いたことが、きっかけの一つです。

② 今変えた方がよいこと継承した方がよいことは。

O LCにはあるべき姿はありません(多種多様な奉仕)。専門分野では、その道のNPOには負けてしまいます。LCの強いところは、一、損得抜きで付き合える仲間である、二、ニーズ変化への対応力、守備範囲が広く新しい価値観のメンバーを抱擁する力がある。三、「こんなじゃだめだろう！」と変化することを常に語り合う熱いメンバーがいるところです。奉仕に対する熱意の変わらないところは、継承されています。

SG 国際協会、LCIFの変化は早いし、日本ライオンズも法人化して変わっている。継承して欲しいことは組織の為にメンバーでなく、メンバーの為に組織であつて欲しい。今年ご意見伺い隊を結成し、各クラブに隊員を派遣し、キャビネットへの要望、改善点、クラブの自慢を語ってもらった。次回の330・Aニュースに掲載の予定です。

③ COVID-19で一極集中から分散へ、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)が加速しました。DXが地域、家庭にもたらす変化は。(以下D) デジタル…現実社会の物事や出来事をコンピュータで扱えるカタチにする(こと)



○ DXこれは難しく悩んでいるところ。県庁内では進み始めていて、まだ個別のデジタル化(Dパッチ)の段階です。DXは、Xのトランスフォーメーション(変形、変質、変容、変革)が重要です。どういう社会や働き方にするかを考えること、頭の切り替えが必要です。手段としてペーパーレスにするとデジタル化へ一歩踏み出せるがそれでは不十分です。課題克服のためにいかにDを使うかを考えることが重要です。Xは、「どういう風になりたいか」例えば、「女性が働きやすい職場にしたい」「九州にモノを売りたい」などで、「何をやりたいか」が一番重要です。それを受けてDで対応できることを考える。配送、販売、集金、顧客からの反応などをデータ化・・・ソリューションたるXこそがDXの本質です(民泊、Uberイーツ、アマゾン通販などDX活用例)次へのビジネスにつながる

ります。

SG 生活の中では、スマホを持つている方が多く、障がい者のなかにはUberイーツなどで気軽に注文している人も多くいます。逆に、スマホが無いと、部屋も借りられない(保証会社の承認が出来ない)、ワクチンの予約もできない。スマホを持たないと暮らしていけない時代に突入しているように思います。スマホ貸出で就職支援などのアクティビティができるかもしれませんね。

○ 新型コロナウイルス禍、学校のオンライン授業でiPad貸し出したとしても自宅周辺でWiFi環境が整っていない場合がある。インフラ環境整備は行政と利用者でキャッチボールしながら整えていくしかないです。

SG 十年位するとデジタル端末を使いこなしている人がいっぱい状態になつていていると思います。環境整備を進める側の行政の施策が大切なような気がします。

○ 女性の庁内の働きやすさの改革(X)のために、D(テレワーク、ウェブ会議)を使う例としては、例えばコロナで経験したテレワークを、女性の社会進出につなげるために、家庭でのインテラルワークを導入することなどが考えられます。Dを体験、利用した人がXの種を見出し、制度変化をもたらす可能性は大きいと思われまます。

④ 職住接近の社会で必要となるボランティア活動とは

SG テレワークの導入で男性が育児の時間を作りやすくなり、通勤に費や

していた時間を街のお掃除などに(一つで誰でもできる、街が綺麗になると気持ちも良くなる)充てることが出ると思っています。

○ 職住接近の埼玉版スーパーシティプロジェクト:コンパクト(必要な拠点を集積し、ゆとりある「魅力的な拠点を構築」・スマート(新たな技術の活用などによる「先進的な共助」を実現)・レジリエント(誰もが安心して暮らし続けられる「持続可能な地域」を形成)を掲げていますが、前提は地域のつながりがあることです。例えば埼玉県で子ども食堂等の子どもの居場所を小学校区の数(約八百か所)と同じくらいに増やせるよう、ネットワーク化を進めています。食事を取るだけではなく、よく似た境遇の親のつながりができ、高齢者に子どもの育て方を習うなど、ネットワークを作ることそのものに意義があります。



職住接近の社会、すなわちコンパクト

な地域で皆が住めるようにするには、お互いの子育てを見る、それぞれが高齢者を見守る社会であることが前提です。LCができることは、小さな地域でも中心的に集まれる空間の提供、集うイベント情報の発信など、街は作ることはできませんが、拠点をつくるためのアクティビティ(献血、子ども食堂で勉強を教える、なんでも相談室など)はできます。もう一歩進んで、職住接近は、ESG投資(環境・社会・企業統治に配慮している企業を重視・選別して行う投資のこと)を引き付ける可能性ががあります。企業、奉仕、行政、地域が一体になれるチャンスかもしれません。

⑤ 誰もが参加しやすい理想のボランティア活動とは。また、人々の意識を変え、ゆくゆくは制度の変化にもつながる奉仕活動とは。

○ だれもが取り残さない、誰もが担い手になることですので、一人一人の小さな行動が世界を変えらると思つています。LC的にいうと、元国際会長ウインクン・タム氏は、「人は、奉仕する側か、される側に分かれる」と唱えました。我々はパッチを付けている限り前者になるべきだと思います。

SG LCは、阪神淡路大震災、東日本大震災などを経験して、汗をかき奉仕団体へ寄つたと思います。何ができるかを考え、組織を飛び越えて迅速に動き、募金を呼びかけ、緊急物資支援、現地視察など行い、新しいつながりを





①メルビン・ジョーンズがイギリスへ行き恵まれない方へのドネーションを集めた時のことです。ジョーンズは、自分が求めていたのは奉仕ではなく、実は、その向こうにあった人々の「友情であった」と「ライオンズよ永遠なれ」に書いています。ボランティア組織は「友情に依存」していると考えています。

SG ボランティアの場に企業経営者、障がい者団体職員、障がい者達が、ごつた煮で集まれる拠点、場をつくり、誰かのために役立つことを楽しみながら活動して、そこから新しい仲間が造られていく奉仕が理想的だと思う。今期誕生した東京カレールCもきつとその拠点の一つになっていくと思います。

## ⑥ 行政とボランティアとの連携、ライオンズの未来。

① 県内の災害支援団体ボランティアの活動を調整・支援する県域ネットワーク組織「彩の国会議」を設置（活動する方々がメイン、県はオブザーバー）しています。また、埼玉版SDGs（持続化可能な開発目標）に取り組む拠点として「埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム」を立ち上げ、企業、団体等に参加してもらっています。加えて、

昨年創設した「埼玉県SDGsパートナー」制度に、330・C地区がクラブ単位で登録しようとしているところ。非常時にはいくらでも活動をやる場がありますが、平時から活動することが大切です。LCは中からぶち壊していき、新しい息吹をどんどん持ってきて、やりたい力と若い力が常に緊張感があるのが一番良い状態です。その緊張感の積み上げが「誇り」になります。

SG この対談を通して気づいた事は、LCのことがよくわかってる人が、行政の長に入り込んでるからこそできる試みをご披露頂き凄く刺激されました。私もその様な立場（団体代表であり、地区G）で拠点、場造りを試みたいと思えました。LCは、組織としてハード面は法人格をとり行政と連携し易くなったと思います。ソフトの部分で行政と連携することは重要で、行政側にもLCメンバーがいて、両方を理解できる人がいると組織造りやスピリド感、反応が良くなり、LCの理想の

未来が見えてきたように思えました。

## ⑦ 最後に一言

SG 災害も毎年あり、新型コロナも蔓延拡大が止まらず、先が読みにくい、反射神経的に対応していかなければならない時代になったと思います。大切なのはそれぞれの「人」、「クラブ」だと改めて感じました。大野知事との対談、大きな刺激を受けとつても楽しい時間でした。ありがとうございます。

① 今年進藤さんがGになってくれたことに感謝と期待している一人です。LCを変え、数年たつて振り返ってみると330・A地区を変えた一年となっていました。

## 江端幹事からコメント

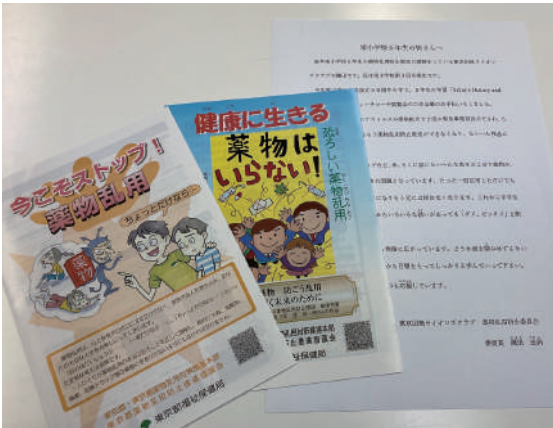
示唆に富むお話ありがとうございます。あるべき姿がないLC、そしてLCはベテランと若手が緊張感を保ちながら変わるところが良いところで、そして今は、新型コロナ禍、時代の変化とともに進化していかなければならないと改めて感じさせて頂きました。DXではトランスフォーメーションをどのように捉えていくのが大事と感じました。LCが、地域の拠点づくり、企業・社会・行政そして地域を結んでいく中で果たすべき役割を教えて頂けたと思えました。お二人とも緻密で戦略に富み、実行されて、見せることのパクト、発信をそれぞれ立場で行っていることが素晴らしいリーダーだと思っています。素晴らしいリーダーは素晴らしいリーダーを造ると改め



て感じました。本当にありがとうございます。

企画編集担当 L 赤尾嘉晃

2010年の研修の内容は、初対面のメンバーと名刺交換をせず、いきなりニックネームで呼び合い、肩書なしでお互いを知るための話を聴く話術（傾聴）と、テーマに則した議論を短時間で行うために、少しばかり中心を外した意見を整理する方法としてパーキングロットを設けて違和感のないハンドリングをするファシリテーターとしての基本的なスキルを得るものでした。その約2週間後に全国からの若手ライオンを迎えてのライオンズ全国アクティビティ研修会でこの受講者は各テーブルのファシリテーターを無事務めました。



## 薬物乱用防止教室について

2021年2月24日



東京田無 LC

<https://330a.jp/club/20210407-2.html>

薬物乱用防止委員会 委員長 L 鎌田忠詞

コロナ禍にあつて、地元の西東京市立栄小学校の校長先生と、恒例の「薬物乱用防止教室」の開催について何度も協議を重ね、今回は手紙とリーフレットを活用した自宅学習を提案した。子どもたちからは、会えなくて残念だと温かいお礼状を頂いた。早く、子どもたちと対面で話を聞きながら教室を再開できることを願いたい。



## 全日本学童軟式野球西東京市連盟春季大会への支援

2021年3月27日

<https://330a.jp/club/20210407-3.html>

東京田無 LC

会長 L 高橋雅人

コロナ禍で、調整を重ねられた西東京市軟式野球連盟の春季大会が、3/27-4/18の日程で開催された。人数制限付きで、当クラブより3名が、開会式に列席し始球式を務めさせて頂いた。青少年育成のための支援として、支援金を贈呈し、未来を担う子どもたちの健やかな成長への一助とさせて頂いた。



## クラブアクティビティ

奉仕活動の原点であるクラブアクティビティをご紹介します。

魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。



## 非行防止教室 DVD 贈呈

2021年3月30日



東京町田クレイン LC

<https://330a.jp/club/20210407-1.html>

青少年育成委員会委員長 L 川越信行

令和3年3月30日火曜日午後1時より、町田市教育委員会教育長室において非行防止教室DVDを贈呈した。当日、町田市からは、町田市教育委員会 坂本修一教育長、北澤英明 学校教育部長が、東京町田クレインLCからは会長L坂本和夫、12R RCP L志村容一、幹事L樋口昇、青少年育成委員会委員長L川越信行、同副委員長L森本せいやが出席し、坂本会長から坂本教育長に町田市内の中学校20校分(生徒10,340名、教員611名)のDVDを手渡しをした。



## フードバンク(鶴川地区協議会)支援事業

2021年4月1日

<https://330a.jp/club/20210507.html>

東京町田クレイン LC

12RRCP L 志村容一

4月1日、非常用乾パン300食・備蓄deポローニャ288缶を届けた。この非常食は23区内の行政で備蓄されていたもので、賞味期限切れ前に入れ替えの為、放出された物の一部です。また、4月23日には三浦半島産の取れたてキャベツ60個を贈呈させて頂いた。このキャベツは仕事で三浦半島に行った際に地元農家の方とのやり取りの中で、子ども食堂やフードバンクのお話をしたところ、是非活用して欲しいと頂いたものです。





## あじさい剪定作業アクティビティ

2021年4月4日

東京西東京 LC

元会長 L 浅野美知郎

<https://330a.jp/club/20210415.html>

当クラブは2009年4月に西東京市の「谷戸せせらぎ公園」にあじさいの苗木300本の植樹を行った。植樹から12年が経ち、あじさいの背丈が高いものは1m50cm位に成長したため、今般4月4日(日)にその剪定作業を行った。当日は2月に新たに市長に就任された池澤隆史西東京市長様と当クラブの賛助会員でもある衆議院議員・松本洋平先生も参加され、午前9時から作業を開始して予定通り約2時間が経過した、11時には無事作業が終了した。



## 献血奉仕活動 in 多摩センター

2021年4月10日

東京稲城多摩 LC

広報委員長 L 伊藤雅行

<https://330a.jp/club/20210414.html>

東京都の「まん延防止等重点措置」発令前の10日に多摩センターにてアクティビティ!なんと!!!日赤のアプリが登場、献血カードを登録すると個人の過去の情報から、次の献血の案内もメールで、さらに予約の登録もできて待たずに献血予約の人が優先のため、効率よく採血も順調で結果も良好であった。



## 子ども食堂食料支援

2021年4月12日

東京町田クレイン LC

12RRCP L 志村容一

<https://330a.jp/club/20210412.html>

新緑芽吹く頃は露地野菜の替わる時期に当たるらしく、地元農家の方から「この季節は子ども食堂では野菜の提供が少なくて困っている」と伺った。そこで、鶴川台教会子ども食堂(レッツごはん)様へ三浦半島産キャベツを50個贈呈させて頂いた。



## 熊本地震 復興支援募金活動を行いました。

2021年4月15日

東京江戸川南 LC

会長 L 硯川俊浩

<https://330a.jp/club/20210418.html>

2021年4月15日(木)、新型コロナウイルス感染防止措置を講じた上、西葛西駅前ロータリー広場におきまして【熊本地震 復興支援募金活動】を行った。熊本地震から5年が経ち、東京ではマスコミの報道も少ない中、¥364,821という多くの募金をお預かりした。西葛西駅をご利用され御協力いただいた皆様の温かい心に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。





## 東京けやき LC 支部花みずき結成式

2021年4月15日



東京けやき LC 支部花みずき <https://330a.jp/club/20210512.html>  
幹事 L 泉孝之

2021年4月15日木曜日に東京けやきLC支部花みずきの結成式が行われた。当日はコロナ禍の中での結成式という事もあり参加人数を絞り、祝宴は中止、消毒の徹底など感染防止に配慮をして時間も短縮し1時間の中で行った。支部花みずきのメンバーは7名ですが薬物乱用防止教室のスペシャリスト、紙切り芸人、盲目のシンガーソングライターなど特徴的なキャラクターのメンバーで結成された。これからの活動が楽しみです。



## 東京シティライオンズクラブの森 環境保全

2021年4月18日

<https://330a.jp/club/20210419.html>

東京シティ LC

会長 L 水野秀一

本年度第5回目となる東京シティライオンズクラブの森 環境保全アクティビティを行った。今回は竹藪刈りで予想以上に手間がかかり大変でしたが、先日電動草刈機取り扱い講習を受講したメンバーが早速電動機を導入し、下草刈りの方はとても捗った。前回、前々回に下草刈りしたエリアから希少種のキンランなどが顔を出すようになり、森の再生を実感できるようになってきた。筋肉痛を伴うきついアクティビティですが、小さな森の変化に確かな手応えを感じ嬉しい限りです。



## あきる野市秋川クリーンナップ

2021年4月18日



東京マリア LC

<https://330a.jp/club/20210421.html>

L 油木由理

毎月開催の秋川リバークリーンナップ、今回はL宮入、L田中、L武田3名で参加した。小さなお子さんも含め、20名ほどで晴天のなか気持ちよく活動ができた。毎回クリーン活動をしています、今回もたくさんのゴミが回収できた。この活動を通して、ゴミを拾うだけでなく社会の課題を発見する目を養うことが出来るようになりたい。



## JR 青梅線沿道の清掃活動

2021年4月18日

<https://330a.jp/club/210427.html>

東京昭島 LC

社会奉仕委員会 委員長 L 関 飛雄一

東京昭島ライオンズクラブでは2021年4月18日(日)14時より2時間半の間、JR東中神駅から昭島駅まで約2.4kmのJR青梅線南側沿道の清掃活動を実施した。今年入会したばかりの新入会員、メンバーのお子様、入会予定者など総勢8人が参加した。空き缶、タバコの吸い殻、食べ物のパッケージや容器など8袋分のゴミを回収することが出来た。通りすがりの年配女性から「今時、珍しいわね。どこの団体なの？」と尋ねられたので「ライオンズクラブという奉仕活動団体です」と答えた。





## ミャンマーの子ども達を支援する為の街頭募金活動を行いました

2021年4月24日、25日

東京神宮 LC・東京ミャンマー CHIN LC <https://330a.jp/club/20210505-2.html>



4月24日、25日、表参道交差点にてミャンマーの子ども達を支援する為の街頭募金活動を行い、募金総額 499,385 円と多額の募金を頂ける事が出来た。コロナ禍の中、規模を縮小しての開催となったが、募金にご協力頂いた皆さま、また、募金活動にご協力頂いた皆さま、誠に有難う御座いました。集まりました募金は、ミャンマーの子ども達を支援するために活用させていただきます。



## 第 18 回東京都障害者ダンス大会ドレミファダンスコンサート♪YouTube

2021年4月25日

東京表参道 LC

L 左近聖子

あらゆる障害をもつ方、ご家族、施設の方に自由に心から楽しんでいただける音楽とダンスのフェスティバル「東京都障害者ダンス大会ドレミファダンスコンサート♪」を4月25日(日)YouTube ライブ配信で開催致します。いつもあたたかく見守り力強くサポートして下さるライオンズクラブ330-aの皆様のご理解ご協力を得て今日まで来られたことを、本当に感謝致します。



## 献血お手伝い

2021年4月30日

東京調布 LC

会長 L 石山健一

<https://330a.jp/club/20210501.html>



4月30日 調布駅前にて献血お手伝いアクティビティを行った。コロナ禍で毎年恒例のアクティビティがあまりできない中、何かできる事はないかとアクティビティ委員会が中心になって検討し発案された事のひとつだ。労力奉仕メンバーは14名。採血にご協力頂きました65名の皆様、有難う御座いました。次回5月18日には例会振替で活動予定です。是非 調布駅前の献血ブースにお立ち寄りください。



## 本日(5月18日) 献血活動中

2021年5月18日

東京調布 LC

会長 L 石山健一

本日(5月18日) 調布駅前にて献血活動を行っている。受付は17:00まで行っているため、是非お立ち寄りください。ご協力者へのささやかな御礼として、クラブから神戸ドーナツ詰合せを用意している。



# ご意見伺い隊一年間の軌跡

## それぞれの想いで活動したコロナ禍の1年間

**L藤田 紘子** 本日はお時間頂きまして誠にありがとうございます。ご意見伺い隊(以下、伺い隊)の皆様の活動を二年間やってこられたところで色々な所感があると存じます。まずは二年間のしめ括りとして皆様の活動報告についてお聞かせ頂ければと思っております。

**東京昭島 L関** はい、今回伺い隊に入隊したのは、14R 2Zのクラブを全て廻りたいなと思ったのですが、コロナ禍ということもあり、一部回れなかったクラブがあったことが残念でした。伺った中で、印象的だったのは今まで「ライオンズクラブが好きだ」とあまり言葉に出されなかった方々が、今回コロナ禍でライオンズクラブに出れなくなってしまうので改めて、「私はライオンズクラブが好きだ」とおっしゃっていたことでした。

**東京三鷹 L林** 私が入隊したきつかけは、訪問先のクラブでいろんな方と知り合いになりたいなということで入隊いたしました。沖縄の宮古島の方に伺った際には、活発なアクティブイティの現場の熱意に、とても感化されました。そして自クラブにそういうアクティブイティができませんか?という提案ができたことが成果だと思えます。年度を超えて継続してやっていくことで、若いライオンたちもいろんなクラブがあることを知ってほしいなと思っております。

**東京けやき支部はなみずき L泉** 私は仕事の関係で、北海道から沖縄まで様々な場所を訪れた中で、知り合った方々の話を聞いたら実はライオンズのメンバーだったり、台湾の夜市を訪れた際にも、現地のライオンズメンバーと知り合うことができたり、ライオンズという言葉で、いろんな人と仲良くなった経験があり、東京も約二百クラブあるので、ぜひいろんなクラブに行き仲良くなりたいたいなと思って入隊させていただきました。知らないクラブに訪問した際に例会やアクティブイティに対して新鮮な驚きもあり、そうした体験を自クラブに持って帰って、どんどん自クラブを良くしていくことができたと思っております。

**東京新都心 L藤本** ライオンズクラブつて民主主義の仕組みをわかりやすく例えば商店街のおちゃんたちに教えようというシステムだと私は思うんです。だから、若者がどん

どんライオンズクラブに入会して活動しやすいようにサポートするのがご意見伺い隊の役割じゃないかなと思っております。

**東京渋谷 L北岡** 今期の活動としましては、全九クラブを訪問させていただきまして、同じ東京でも、地域によって例会の運営のやり方が違って、皆ライオンズのルールに則り例会がきちつと行われているんですが、入会式の方法もクラブによって全然違ってこれがとても興味深かったです。それでも、全てのクラブで、キャビネットからの発信文章をきちつと伝えていくことを目にし安心しましたが、発信内容への受け止め方がクラブによって様々で、これは東京の二百クラブ皆に同じように情報が伝わるというところの課題があるのかなあと如実に感じました。

**東京田無 L伊藤** ご意見伺い隊とは、進藤Gが地域の活性化というかいろんなところを回って意見を吸い上げるために作ったんですね。本来は自分の自クラブの近くでなくて、ランダムにということでもあったんですけど、自分的にも所属する13Rの意見をキャビネットに上げたいなという思いはすごいありました。新入会員の入会式のやり方もほんとに各クラブで違うんですね。色々アレンジされて、自分たちが楽しむ例会運営の工夫が印象的で、いずれは自分のクラブにも取り入れて行きたいなと思いました。

**L藤田 進藤G**、いかがでしょうか。  
**進藤G** 今年度のご意見伺い隊の活動としては、今の時点(五月十六日)のご意見伺い隊のメンバーには、実際行ったクラブの課題だけ抽出したものをもう一度内部で出

し直して皆で突き合わせようというのをこれからやろうと思っております。

**L藤田** 現時点で上がっているご意見がありましたら、少し教えてください

**進藤G** 現時点で、ここにいない伺い隊のメンバーから具体的に上がっているものとしては、例えばなぜガバナーにだけLをつけないのか、とか、法人化に対する意見や、クラブの合同事務局とキャビネット事務局を一つにした方がいいのではとかもつとZOOMが年長者に馴染まないから文章に戻せないかとか、いろんな意見が出てきていて、それをまとめたものをHPに出すとかを考えていきたいです。

**最も多かった意見は法人化への疑問、そして・・・**

**L藤田 進藤G**、ありがとうございます。二つ目の質問としてこれが最後の質問(笑)になってしまいますが、先ほど伺いしたことと重なる部分もあるかと思えますけれど、皆さんがご意見を吸い上げられていく中で、こんな意見を聞いて、それをご意見伺い隊で共有したりされたか、共有したいなと思われたことを教えてください。

**L関** 各クラブを訪問した際の質問で一番多かったのは、法人化の疑問でした。それについては、進藤Gが御同行いただいた際には、十分な説明ができたのではないと思いた。

**L林** 僕の場合は、伺った際に意見というか、クラブの課題に対して色々語っていただいたことが印象的でした。また、別のスペシャ

ルテイククラブでは大学のクラブが、特定のリジョンに固まっているのは嫌だという意見がありました。

**L泉** アクティビティでパプアニューギニアに長年支援を行っているからその悩みが出てきて、長年やっているからその悩みが出てきているということ聞いて、とても興味を持ちました。当初、現地の子供たちの勉強環境を支援して欲しいということでは始まった支援活動が、支援していた子供達が就職活動期になり、彼らの就職活動がどうやって支援するかという話になっていったのです。そういう悩みは330・A全体で共有した方がいいなと思いました。さらに、そこで意見を議論できたらもつといいなと思いました。

**L藤本** 私が、印象に残ったことは、このコロナ禍の中で、これまでクラブで貯めてきたお金を使って、年会費ゼロを実現したクラブがあったこと。ここで使わなくてどこで使ったかっておっしゃっていたことでした。他クラブからどう見られるかというより、自分たちがやりたいことをやるのが大事だとおっしゃっていたのも印象的でした。かたや自分たちのアクティビティを積極的にメディアを使ってアピールをやられていたクラブもございました。どちらのやり方も、実際に触れることができ、興味深かったです。

**L北岡** 一番多かった質問は法人化についてでした。進藤Gがきちつとお答えいただいた際は、質問者もご納得されておりました。あと、ライオン誌について、全国版は自分たちには馴染みが薄いけれど、地区ニュースは身近なので読んでいて面白いと。またラ

イオン誌はその経費の方が気になりますともおっしゃっていました。また、ガバナードアワードの選考基準についても、お問い合わせをいただきました。キャビネット会議について、配布される資料のボリュームが多すぎるとの意見もございました。またZOOM会議になった場合の資料の配布の仕方についても、どうしたらいいのだろうかという質問や、キャビネット運営と自クラブの活動のつながりの必要性についての質問もございました。こういったご意見を伺うことで、もつと丁寧なキャビネットの役割や、各クラブのメリットになる取り組みを進めていかなければならないなあと感じた次第です。

**L伊藤** 私もイベント系のアクティビティにおいて、回を重ねるにつれ最初のイメージと変わってくるという課題が出てくることを学ばせていただきました。一方で長く続けているとやるのが当たり前になってきて、目的がいつの間にかものを売って利益を生むための手段みたいになってきて、主催クラブ内でも「やめたくなってきた」という意見も伺って、自分的には、イベント系のアクティビティはある程度、時限をつけるべきなのではという意見を持ちました。同じスタンスで続けるには、クラブも常に変わっていかなくてはいけない側面もあるんだなと勉強させていただきました。

**L藤田** 最後に進藤Gにお伺いします。気づきを生かしていくという取り組みについては来期の継続活動の中で進めていかれると伺いましたが、その辺についてお聞かせください。

**進藤G** 今季のご意見伺い隊で吸い上げた、

例えばガバナリーにLをつけないのはなぜか、みたいなライオンズクラブ文化に対する素朴な疑問なんかも、興味深いと思ったんです。逆にクラブで困っていることに對してご意見伺い隊がどういう風にフィードバックするのか、という課題もあるんじゃないですか。例えば、先ほどの例で言えば、何年も続いているアクティビティにおいて要求されることが変わってしまい困っている状況に對して、ほかのクラブの例をお伝えさせていただくとか、そういう横展開できるノウハウの共有はこれから起きてくる出来事になると思っているんですね。ですので、キャビネットの課題としても、ご意見伺い隊が集めた情報をどういかにすかという課題がこれから生まれていくと思います。そういう循環ができることがご意見伺い隊の意義になると思っています。

**L藤田** 本日は、お忙しいところを貴重なお時間をいただきまして誠にありがとうございます。



## 法人化についてのご意見

- 法人化の件について、メリットとデメリットを説明して欲しい。
- 法人化により、経費が削減できるという説明は本当ではない。この説明はやめた方が良いのでは？
- 法人への入会の割合はどれぐらいか？
- 法人化についてキャビネットでは、法人化された法人へ社員登録していないクラブが、たくさん存在する。その申請を忘れていないか？と促しているが、忘れていたのではなく、社員登録したくないだけであることを伝えておきたい。ライオンズクラブという奉仕団の主権はあくまでも各クラブにあり、法人化することによって、クラブの運営費の負担が増加することが予想され、そうすると、各クラブの奉仕活動の費用を削減せざるを得なくなる。それは、絶対に避けたい。
- 主権在クラブであることが原則で、自クラブだけでなんとかできないクラブの場合は、しょうがないかもしれないが、自クラブできちんとやっているとけるクラブは経費を法人化になったがためにキャビネットに對しての費用負担のため、削られるのは、甚だ遺憾に思う。少しでも奉仕活動

の費用に使いたい、という意思があるから、社員として申請登録しないのだから、忘れていたのではなく「イヤダ!!」という意思表示であることをわかってほしい。

■法人化について⇒法人化で増えたお金は、もともと我々のもの?:出資金を各クラブに返還する、という条件で、一気に法人化への道が進んでいった。しかし、元をただせば、このお金は我々のもので、我々が使うのが当然である。証書が無いと、クラブに返さない、と言われたがそれは間違い。法人化への導きをしている2名の動きを止めないと私物化されてしまう懸念がある。(繰り返して言われたが)今の法人化の元のお金は我々が出したものなのだから。そこを取り違えてもらっては困る。

■預託金はどうなっているか?

■支援会は解散となるのか?

■年次大会、株主総会の会計年度が異なると混乱を招くのではないか?

■法人の理事は1年交代、会計監査は2年交代ではおかしい。会計監査がクリアでなあるべき。

■キャビネットと法人がやっていることが異なると困る。

■330複合の他地区間で差があれば困るのでは?

## キャビネット運営についてのご意見

■前期(伊賀期)は途中から何も活動していなかったように見えるが、進藤ガバナー期はどのような活動をするのか教えて頂きたい。

■委員会の数が昔に比べるとまだ多いと感じる。各クラブの活性化のためにも、もう少しスマートにした方が良いのではないかと

■ペーパーレス化のために、キャビネットから配信される文書について、クラブからの返信を求める文書についてはPDF形式での配信に加えてWord形式でも同時に配信してはどうか。多くの方が使っている無料版のPDF閲覧ソフトでは入力ができない事が多く、Word形式で同時に配信する事によりペーパーレス化の推進に加えクラブの事務負担も軽くなるのでよいのではないかと

■手帳が少し大きいので、字も大きくて見やすい、高齢のメンバーでも見易い手帳になっています!

■総会の時の選挙の投票方法について、前は、拍手で決めていたが、投票というやり方に変ったことは、日本に合ったやり方と違うと思うので良くない。野鳥の会方式の目視カウントをやればよいのでは。いっぽう、このような意見もあり。

- 規約で決まっているので、仕方がないこと。

- わずか数票差で当落を左右した選挙あり。正確に数える必要がある

- 投票の秘密を守るという点での利点もある

■リジョン編成について大学クラブは、独立したリジョンになってしまっているが、以前のようなリジョン構成のほうがよかった。同じライオンズクラブだけど、4R3Zということで、そうではないクラブから違うライオンズクラブのように見られていると感じる。

■メンバーの数が少ないのでキャビネットにはメンバーを出せない。名刺とアドレスブックに入札制度を取り入れたのはとても良いことだともおもわれますが、名刺が薄すぎ。また、330-Aの住所録は、上等すぎて重いとのこと指摘もありました。こちらのクラブには、サポーター会員がいて、年会費なし。国際会費なし。全てのアクティビティをサポートして下さるそうです。

■メンバーが少なくなりアクティビティなどが難しくなってきたので、リジョン・ゾーン内でクラブを合併統合できないか

■情報の共有化を広げてほしい。国際協会のHPでは、奉仕活動として推進していくアイテムが明示されている。その情報が地区を通じて各クラブや個人に降りてこない。各クラブは、国際協会のHPへアクセスできる場合とそれができないクラブがある。眼鏡のリサイクルのことも、平和記念ポスターのことも、地区キャビネットからこちら側にはおりにきていない。国際協会から各メンバーに直接1対1で情報を流す時代であるのだから、キャビネットも国際協会からの情報をもっと地区内に流してほしい。

■キャビネットからの連絡文書がメールだと受け取りにくいので紙ベースに戻せないか。また、会議もZOOM等は年長者にはなじまない

■キャビネット会議について、コロナのせいでZoom会議になった。しょうがないと思うが、2時間以上のZoom会議は疲労感がある。

配布される資料のボリュームが多すぎる。印刷すると、大変な量になる。

■多摩地域から都心の六本木・銀座の会議には出席しづらい。出席できてもせめて八王子まで。

■法人化をきっかけにキャビネット事務局と合同事務局を統合できないか。合同事務局を利用しているクラブが30クラブを切ってしまう中、合同事務局の運営が難しくなった

■ガバナーズ・アワードの選考基準が不明である。わがクラブはたくさんの方のアクティビティをやった。とても頑張って奉仕活動をした。アワード申請の書類もたくさん書いて提出すること自体も大変だった。しかし、何も賞は得られなかった。受賞したクラブのアクティビティと比較しても、はるかにこちらが勝っていると思った。よく見ると、キャビネットに貢献度が深い(委員会の委員長が所属している)クラブの様だ。アワードを受賞するという事は、クラブのキャビネットへの貢献度とかかわりがあるのか?そこが選考の基準なのか?と疑わざるを得ない。クラブとしては、



キャビネットの中ではめだたないけど立派なことをしている、というクラブにはガバナーズ・アワードをあげないとダメだ。ガバナーズ・アワードの選考委員はだれなのか？今期、アクティビティコンペティションがあるが、その選考委員はだれなのか？基準がわからないと同じでは？

- アクティビティについては、アワードや賞を狙ってやっているわけではないから、ガバナーズアワード(コンペの賞も、、、)疑問がある。ガバナーズアワードの決定は、仲間内のところが有利だったりしていないか？

## GLTについてのご意見

- ZOOM主催者セミナーは、すぐに定員がいっぱいになってしまうため、もっと参加できるようにしてほしい。
- CQI委員会に作成いただいた、ライオンズクイズを例会のなかで勉強として利用させてもらってます。ありがとうございます。
- 研修や会合や委員会の日程について、平日の昼間に開催されると参加しづらいメンバーもいるので日程を考慮してほしい
- Zoom会議でセミナー等行われているが、意見交換がしにくい。一方的に講師がしゃべるだけに近いスタイルになるので、1時間も2時間も持たない。途中で他所に行ったり聞かない状況になる人が多いのでは？
- セミナーの案内が来て、3役セミナーだのなんとかセミナーだの、出るように、と言われるけど、こっちはわざわざ新宿まで出向いてそれを聞くのは、誰の何の目的があるのか？（「じゃあ、こちらに来て説明するという場合はどうですか？」と問い掛けると「そんなことされても、まず興味がない。自クラブは自クラブでやっていくので」と）
- 10.28開催の指導力育成・CQI委員会主催「オリエンテーションセミナー」参加者は7名。内容もZOOMの環境も勉強できてとても良かった。
- ガバナーの名前を次第に記載する場合、「L」を付けないのは何故か。ガバナーにも呼称「L」を付けた方が良いのではないか。
- 最近、ガバナーに「L」を付けないのはおかしい。これは今井ガバナー期にオセアニア会議に出席して外国のガバナーに付いていないのを見習ったようだが、もともと外国では「L」をつける習慣がないのでついていないだけだったのにそれが習慣化されている。
- ライオンズは皆平等。キャビネットの元ガバナー方のプロトコルが歴然と残っているのはおかしいのでは？1年交代で役職も交代するのだから。5周年のCNの際、来賓の紹介の役職名の長さにはいささか閉口した。
- ライオンズに入会して思ったことは、ライオンズ必携をもらったが生命保険の約款みたいで理解しづらいので、これだけ読んでおけば分かるというもの(最低限読めば分かるもの)を作って欲しい。
- 用語が分かりづらい。(LCIF、GAT、GLT、G MT、GSTなど)
- 用語集やマニュアルは地区のHPよりダウンロードできるようにしてほしい。
- GAT、GST、GLT、FWT、という言葉がよく理解できない。何ですか？それはどうしてそうしないといけないのですか？そのメリットは？
- ライオンズの仕組みがまだよくわからない。いろんなことを教えてほしい。・LCIFとは？ここにある募金箱のキャンペーン100とはいったい何？

## GMTについてのご意見

- 人口が3万人と小さな町であり会員増強に苦慮している。事業費や運営費の資金調達が難しい。
- クラブ会員数が増えない。
- 会員数が約20人在籍していたクラブであったが9人まで激減した。会員減少を補うためにも会員増強を図りたい。
- 昔は商店街の会員も居たがライオンズクラブが嫌いな経営者が多い。親から経営を引き継いだ2代目の経営者は親がライオンズクラブ活動で大変だった姿を見てライオンズクラブを敬遠している方や経営に忙しくライオンズクラブ活動をしている余裕が無いと思われる方が多い。
- 会員増強をしたいが自治体の現状に合った方法をキャビネットに教えて欲しい。
- メンバーが11名までと少なくなり、一時はクラブを閉めることも考えたが、あらたなメンバーを青年会議所メンバーから募り、口コミでどんどん加入してもらった。いまや30名を越す規模になっているが、さらに今期40名まで増やしたいと、高い目標をもって会員増強に力を入れている。
- 若い会員を集めるために年配会員とは別に支部を作りたい。
- 支部創設や家族会員は本当に意味があるのか疑問。
- うちの支部は、支部という会費の安さを活かし入りやすさで、若いメンバーを獲得し、慣れた頃に親クラブに移籍をするケースが多い。レオクラブ的な役割を果たしている。いっぽうそのような在り方は支部会にとってよくないと思う意見もあります。
- 支部結成、強い指導力があれば進めることができる。と思っていたが、かなり前から根回しをしたり説明資料をつくったり、思ったようにはいかない。なんとか結成までもってくれた。330-Aの若いライオンにはいろんな決め事の仕方を覚えてほしい。

## GSTについてのご意見

- 新型コロナの影響でアクティビティが開催できない。

- 独自の活動として美容室などにヘアドネーションのポスターを広めていきたい。
- 薬物乱用防止教室講師認定講座の開催場所を多摩地区(立川辺り)で実施頂きたい。
- 毎年、三越劇場で「はーとふるはんど」をやっているが、今年は無観客でないと言われ、渋谷区文化総合センター大和田で「はーとふるはんど」をやることにした。
- 防災について、これまでの実績と今後取り組みたい内容のパネルディスカッションをおこなったが、これまでの取り組みや実績の違いが出たのではないかと。
- 献血支援が目的で出来たクラブ。中古メガネ回収や児童養護施設の行事に参加している。
- CNが早く出来るアイデアを一緒に考えて欲しい。
- 小児がんの子供たちを支援するために1つ500円のバッジを購入してもらいたい。
- 災害支援の支援を考えると、被災地の情報が全国的にリアルタイムでわかるような災害掲示板をキャビネットで作ってくれるとありがたい。せっかくすみやかに募金活動してもその行き先を探すのが後手になったりする。
- 小児がん患者を支援するため金バッジを買って欲しい。
- MyLCIにログインできない。
- MyLionを使用してアクティビティ報告を100%にしたいという目標があるが、会員全員にMyLionを普及するのは無理がある。

## LCIF についてのご意見

- LCIF1000ドル献金があるが出せる人は出して、出せない人には配慮して欲しい。
- キャビネット会議等で献金していないクラブを大々的に公表しないで欲しい。
- LCIF等の献金より労力的な奉仕を重視して欲しい。「奉仕=献金」ではない。
- LCIF100キャンペーンが1年延長して4年継続となった。これは、一旦、当初の予定通り、3年で区切って終わりにする、その後、コロナの関係で追加で1年延長をお願いします、とした方が分かりやすかった。すっきりしてよかった。

## PR についてのご意見

- ライオンズクラブの知名度を上げて欲しい。
- ライオン誌は内容がつまらない。なじみのないクラブのことなので。その経費の方が気になる。地区ニュースは、読んでいて面白い。

## コロナについてのご意見

- 昨年度、キャビネットとして医療従事者にたいするアクティビティは行ったのでしょうか?コロナ禍こそ、われわれ奉仕団体は奉仕活動をすべきです。
- コロナ禍の中頑張っ乗り越えてほしい
- コロナ禍に対するキャビネットの対応が遅い。欲しい時に欲しい物を支援してもらいたい。
- 新型コロナウイルス感染症のためリアルな例会を実施できず悩まれているクラブもきっと多いのではないかと思います。進藤ガバナーには「感染防止に十分配慮したうえで、どのように例会を開催し、ライオンズクラブを盛り上げてゆくか検討し、各クラブに方向を指し示してほしい
- 新型コロナウイルス感染症のため、様々な活動について制限を余儀なくされる中、進藤ガバナーは大変な苦勞をなさっていると思う。進藤ガバナー頑張ってください
- 自粛ムードが緩和されてきたとしても、ライオンズクラブ及びメンバーはプライドとモラルをもち例会や集まりの開催については、感染者を出さぬように常に高いレベルで感染防止対策を行う必要がある。キャビネットは感染者を出さないように対策を徹底してほしい。
- 新型コロナウイルスの影響により例会が開催できていない現状を知った。多くの会員は母国(インド)に帰国してしまった。時差が3時間半あり、ZOOMを使用しても例会が開催できていない。クラブ活動を再開するにはコロナの終息を待つしかない。
- 例会場グランドパレスはコロナの影響で休業し、次の例会場のガンシップで例会をすることになっている。しかしメンバー一同に前向き(ガンシップ綺麗で、料理美味しいし、よかった)に受け止めています。
- チャーターナイトはまだ開催できない。コロナの現在、どのように開催すればよいか、悩んでいる。「東京とミャンマーをインターネットでつないだチャーターナイト開催はやりたくない、このやり方では、ミャンマーの現地でライオンズ活動の意義を理解してもらえないと思っている」という意見もあり、理想と現実の違いに悩んでいる。

## ライオンズのあり方についてのご意見

- ライオンズクラブが今後存続して行く為の新しい形を考えて欲しい。
- 建築業界のメンバーが沢山いて、メンバー間で仕事を助け合っている。
- ライオンズクラブ内で、お仕事でのつながりを求めることを、表に出すのは、やや忌諱されている風潮を感じるのを改めてほしい
- 全てのクラブに、幹事という要の役職がありますが、わが(大学系)ライオンズクラブでは幹事長と呼んでいますが、ライオンズ用語の和訳にあたって、批判精神を忘れない自由な学風をもっていることに誇りを持っています。
- ZCの任期が1年というのは、無理があると思う。広範囲が対象になるのだから、1年ではほとんど何もできない。ZCだけは3年任期というのはどうだろうか?と提案したい。
- 国際大会の申し込みをする旅行社の参加提示金額が高すぎる。自分は旅行業者なので、当然利益を載せて企画するが、キャビネットで案内来る旅行社は、びっくりするほど高い値段になっている。おかしいんじゃないか?と思う。

## 伺い隊についてのご意見

- ガバナーやご意見伺い隊が親身になって話を聞いてくれて嬉しい。
- ご意見伺い隊の発想はとてもいい。隊員へ入隊希望勧誘。隊員としてはとても勉強になる。
- 伺い隊報告に出ていた、某クラブの意見のリジョン構成の話は、〇ライオンのご意見ですね、私との議論でそういった意見が出たのだと思います。

## 他地区についてのご意見

- 東京からたくさん観光にきてください!コロナは沖縄の方が陽性率高いですがライオンズの方でしたら大歓迎です。
- 東京でのライオンズクエストの活動状況はどのような感じでしょうか?
- 他地区だが、アワードについてのカウントの仕方がちがう。例えば、わが地区ではメディアに載せたらポイントが加算されて、ラジオなら1ポイント、テレビなら2ポイントetc.というように合算されてカウントされてアワードに反映されていくというように明確にされているポイント制となっている。

## その他についてのご意見

- スマホの5Gが出たが身体や脳への影響が大きいので要注 意!(4Gの100倍危険)
- 自由を掲げたライオンズクラブは中国のジェノサイドにどこまで干渉出来るのか?
- 5G回線の普及に反対。ライオンズメンバーが5Gの危険について認識し、情報を発信するのが望ましい。欧州では5Gにより小児がん患者が増えているという報告があがっている

### 【座談会コメンテーター】

進藤義夫ガバナー 7R2Z東京けやきLC支部 花みずき L泉孝之 10R1Z東京渋谷LC L北岡知子 10R1Z東京渋谷LC L北岡知子  
12R1Z東京三鷹LC L林秀行 13R1Z東京昭島LC L関飛雄一 13R2Z東京田無LC L伊藤勝 ファシリテーター広報・IT・クラブサクセス委員会 L藤田紘子



東京メディカル LC アクティビティ訪問報告書  
2021年2月21日  
<https://330a.jp/home/20210525-1.html>



東京葵ライオンズクラブ・支部魁 合同例会訪問報告  
2021年3月11日  
<https://330a.jp/home/20210525-2.html>



東京紀尾井町ライオンズクラブ 例会訪問報告  
2021年3月16日  
<https://330a.jp/home/20210525-3.html>



東京 2020LC 例会訪問報告  
2021年3月18日  
<https://330a.jp/home/20210525-4.html>



東京昭島ライオンズクラブ 例会訪問報告  
2021年3月24日  
<https://330a.jp/home/20210525-5.html>



東京レスキュー LC10周年 & 東京零環 LC1周年合同例会訪問報告書  
2021年3月28日  
<https://330a.jp/home/20210525-6.html>



東京カレー LC 結成会報告書  
2021年4月4日  
<https://330a.jp/home/20210525-7.html>



## 第 67 回年次大会 代議員総会 速報。東京プリンスホテル 2021年4月17日



<https://330a.jp/cab/20210417.html>

有資格者 574名 本日の登録 528名 年次大会、代議員総会速報。

第一号議案 68 回年次大会開催地選定の件

第二号議案 20-21 年度上半期会計報告

第三号議案 19-20 年度会計報告

第四号議案 クラブ会費、一クラブ@2000 円/月 現在の任意団体ライオンズから一般社団法人へ支払いという付帯条件の提案があった。

第五号議案 21-22 年地区費、一クラブ @680 円 / 月



## 活動報告 緊急対策・アラート・復興支援委員会

2021年4月10日

<https://330a.jp/committee/210505-1.html>

令和3年(2021年)2月13日 23時8分頃に、福島県沖でマグニチュード(M)7.3(暫定値)の地震が発生しました。福島県新地町・その他地域にて最大震度6強-1を観測した。現在コロナ禍の為、被災地での支援活動は困難であると考え、災害支援団体「震災がつなぐ全国ネットワーク」並びに「認定 NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク」の松山氏と連絡を取り、現地の状況・支援物資の種類・数量並びに搬入場所・受け取り団体などの打ち合わせを行い、330-A 地区として災害支援団体への後方支援を行いました。



## キャビネット報告 委員会報告

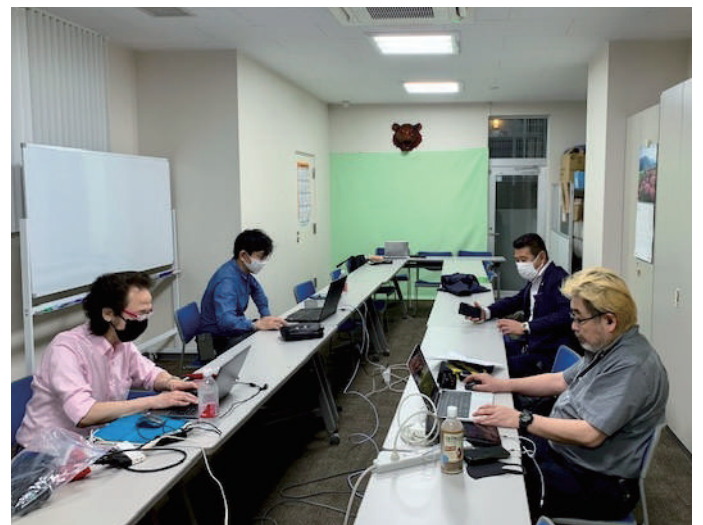


## 第 2 回交流会 GLT 青年アカデミー委員会

2021年5月19日

<https://330a.jp/committee/20210526.html>

5月19日(水)、第2回交流会を開催した。1部では助成金・補助金についての解説、2部では新型コロナの感染経験者の経験談と、新型コロナの現状について医療現場から、年次大会でもご講演いただいた讚井先生から講話を頂いた。



# 1年を振り返って

## 2020-2021 広報・IT・クラブサクセス委員会



長期戦のコロナ禍の中でも、坂本委員長の前、広報・IT・クラブサクセス委員会でのこの一年間の活動を通して、とても大切な宝物をいただいたと感じた一年でした。地区ニュースの取材記事の編集や、活動報告のHPアップ作業、委員会での率直な意見交換の中で、330-Aの各クラブの皆さんのアクティビティにおけるお互いの学びや、教訓、そして何よりライオンズクラブを通じたアクティビティの共感をいかに大切に思っているか、またそこにある信頼と後輩を思いやる先輩の優しさに触れることができ、ライオンズクラブがライフワークで本当によかったと改めて感じることができました。来期はキャビネットの皆さんとより一層一蓮托生となり、330-Aの皆さんの活動や、課題を共有し共に解決するお手伝いの傍に、貢献できるよう新たにデジタル推進・広報室として、330-Aの皆さんとご一緒できれば幸いです。今年一年間、本当にありがとうございました。

副委員長 L 小野健志

ちょうど一年前のスケジュールを改めて見てみると、予定が入っていた業務はことごとくキャンセルになり、途方に暮れていたことを思い出します。そんな中で、2020-2021 広報・IT・クラブサクセス委員会へ出向して、ライオンズ新年度が始まりました。コロナ禍だからといって止めることは出来ない「広報活動」という重責を担っている委員会ですが、坂本委員長をはじめ委員が協力し合い、内外への発信を続ける事が出来たのだと思います。そんな中、私自身は業務との兼ね合いであまり活動に参加することが出来ませんでした。たまに顔を出す委員会では暖かく迎え入れていただいた委員皆さま、330-A 地区へ深く感謝申し上げます。一年間、誠にありがとうございました。

副委員長 L 石田賢



本委員会の担う役割の重要性を改めて実感した2期目となり、今期も熱意ある素敵なメンバーの皆様と活動できたことを誇りに思います。地区ニュースの作成に携わり、特集記事の構成、インタビューの進行、ファシリテーターの役割など、大変勉強になりました。また、様々なク

ラブの工夫を凝らした活動や、キャビネット運営の”新しいカタチ への挑戦”を垣間見ることができました。貴重な機会を与えて下さった坂本委員長はじめ、委員会の皆様へ心より感謝申し上げます。

写真は無観客で開催した第18回ドレミアダンスコンサートです。このコロナ禍でライブ配信を三度挑戦しました。今までのような直接的な触れ合いがないのは寂しいものでしたが、制約の中で、ライブ配信という新たな手段を得ることができました。これからもLCの知恵と奉仕の精神をもって、より多くの方々に喜んでもらえるアクティビティを開催していきましょう。

副委員長 L 細田未央

一年を振り返ってコロナ禍で生活様式が変わり、今まで存在していた市場が消滅したり、今までのやり方が通用しなくなったりすることが日常となっています。同様に奉仕活動も存在意義が消滅したり、やり方が通用しなくなったりということが頻繁に起こっています。各クラブやキャビネットの活動情報に留まらず奉仕を受ける側からの意見も集まってくる当委員会の役割は今後ますます大きくなっていくと思います。そして、それらを集約、発信する従来の活動に加えて、将来的には世界の奉仕活動の新たな動きを発信していく、或いは新たな広報の仕組みを作っていくといった今までにない役割も予想され、委員会メンバーの今後の活躍は本当に楽しみです。そして、今期このような素晴らしい委員会のメンバーに加えて頂いたことに改めて感謝申し上げます。

副委員長 L 桂太郎



今期広報を担当させていただきました、L 藤田です。「ご意見伺い隊」「東京都献血センター」のインタビューを担当させていただきました。委員会に入って初めて、地区ニュースがどう出来ているのかを知りました。委員会のメンバーが自分たちでインタビュー、撮影、文字起こし、編集、構成、まで全て行っているんだ！という事に驚きました。自分でインタビューをやってみて初めて気づいたことは「最後記事になることを考えて質問を考えないといけない」とか、インタビュー中も「もっと詳しく情報をもらわないと、記事を読んだ人に伝わらない」という考え方で動いている、ということです。委員会活動を通してたくさんのお話を学ばせていただきました。インタビューさせて頂いたみなさま、ありがとうございました。そして、坂本委員長をはじめ、委員会のみなさま、1年間とても楽しかったです。本当にありがとうございました。

L 藤田紘子



委員会の皆様、今期も楽しく活動させて頂き有難うございました。2020年初から世界中で猛威を振るった武漢ウイルスですが我が国にもやっとワクチン接種が始まり収束に向かいつつあります。しかしこの度の三度に亘る緊急事態宣言では失われた物があまりにも大きいと感じざるを得ません。巷間、コロナ禍と言われておりますが私はコロナ騒ぎ禍と思っています。以下は昨年アクティビティ取材の時に感じたことです。LCは奉仕団体であるため万人が反対しない活動しか出来ないのは百も承知ですがこの度のコロナ騒ぎ禍において政府・行政からの飲食業界のみを狙い撃ちにした自粛要請について会員の飲食関係企業へテイクアウトの支援以外にはさしたる援助の手を差し伸べていないことが残念でなりません。クラブの性格上、仕方ありませんがこのコロナ騒ぎ禍で330A地区として都知事や行政に対して飲食業界を狙い撃ちにした自粛要請をしないよう提言を行なって欲しかったと思いました。奉仕団体以外に「もの言う団体」としての一面も有ってもいいのでは。「We Serve」を旗印に一生懸命に活動している飲食関係の人が廃業したのではシャレになりません。

日本の食文化を守り隊 茂岡

L 茂岡幹弥



1年の振り返り本年度初めてMCIT委員として参加させて頂きましたこと、坂本委員長をはじめとして、まずは全ての委員の皆様へ感謝申し上げます。委員会の中でITリニューアルを中心とした役割でしたが、全体的にリニューアルができた事が沢山あったにも関わらず、なかなか進めることができず恐縮な気持ちです。役割を改めて認識しながら率先して取り組んでいけるように精進したいと思っております。また、早稲田大学出身のメンバーで構成される「東京稲門ライオンズクラブ」を昨年度立ち上げ、幹事として体制構築に翻弄されながらも、ようやくオンラインアクティビティ（オンラインセミナー）を開催できるまでになりました。20代～70代まで幅広い世代が参加しているLCで、新しいカタチを作っていきたいと思うのと同時に、最後の1日まで委員会に貢献したいと思っております。1年間本当にありがとうございました!!

1年の振り返り本年度初めてMCIT委員として参加させて頂きましたこと、坂本委員長をはじめとして、まずは全ての委員の皆様へ感謝申し上げます。委員会の中でITリニューアルを中心とした役割でしたが、全体的にリニューアルができた事が沢山あったにも関わらず、なかなか進めることができず恐縮な気持ちです。役割を改めて認識しながら率先して取り組んでいけるように精進したいと思っております。また、早稲田大学出身のメンバーで構成される「東京稲門ライオンズクラブ」を昨年度立ち上げ、幹事として体制構築に翻弄されながらも、ようやくオンラインアクティビティ（オンラインセミナー）を開催できるまでになりました。20代～70代まで幅広い世代が参加しているLCで、新しいカタチを作っていきたいと思うのと同時に、最後の1日まで委員会に貢献したいと思っております。1年間本当にありがとうございました!!

L 石橋卓磨



今期は終始コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に陥り、前期に引き続き非常に大きな変化があった1年となりました。

緊急事態宣言の発令や外出自粛要請、営業自粛要請を受け、

みなさんの生活にも変化が訪れたと思います。

“3密の回避”や“ソーシャルディスタンスの確保”など、ライオンズクラブとしても「ニューノーマル」が加わる年でした。その中でもリモートでのキャビネット会議は成功を収めキャビネット運営での大きな力となりました。

まだ収まる気配はなく仕方なくwithコロナを継続することになります。ライオンズ活動もwithコロナで地域社会を先導していけたら良いですね。

L 新井大介

坂本委員長とこの委員会では何度でも一緒になることがあり、毎回仕事ぶりが率先してなんでもこなしてしまう印象が強く今回もさらにフル活動していた印象でした。今期はコロナ禍での委員会活動で、大会や集会など大きな行事の規模を縮小したりしての開催など先引きどのようになるのか、心配していましたが、この時期だからこそ活躍の場もあり、さらなる工夫とITをこなしてクラブ全体への伝達法を研究した一年になったように感じました。ここで学んだことは今後自クラブで活かせるところは活かしていきたいと思っております。とても勉強になった楽しい委員会、委員会の皆様1年間本当にありがとうございました。



L 赤川緋沙子



一年間、ありがとうございました。何もお手伝いできぬまま、ただただ勉強させて頂いたようで大変心苦しいですが私自身は楽しく関わらせていただきました。ライオンズを内外に発信していくための地区ニュースの発行からアクティビティや会議の

取材など、今までてっきり業者に委託されているのかと思っていたことが全て委員の方々の自主性によって行われておりその熱意に驚くばかりでした。個々の奉仕の心がライオンズを支えていることを深く感じる事ができました。

L 千葉信一郎



ライオンズ 2.5年目、マーケティング・コミュニケーション委員 2年目としてコロナ禍 1年目に関わらせて頂きました。ライオンズについてまだまだ知らない事も多く、今期は書き起こしと「読者目線の広報とは」から先輩ライオンに多々学ばせて頂きました。大きな舵取りはお任せしつつ、若手かつ入会歴の浅いデジタルネイティブ世代ならではの目線で、適材適所でお役に立てるよう来期も精進致します。

L 三代勝之



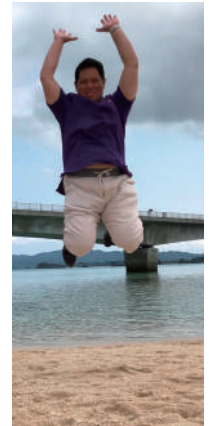
1年を振り返ってゴールデンウィークに日本一の落差の「称名滝」と、幻の滝と言われる「ハンノキ滝」を見てきました。まだ残雪もあり、そびえたつ断崖、そして轟音に圧倒され、こうべを垂れて目を閉じてしまいました。

自然とともに生活してきた日本人は、地震や台風など災害にすなやかに対応して苦難を乗り越え、暮らしを豊かにしてきました。今、蔓延しているCOVID-19についても、一人一人が知恵を絞り行動していけば心豊かな生活を取り戻せる可能性が十分にあると思います。

さて、この一年、坂本委員長の下、新型コロナに立ち向かい特にリモート会議設営や動画の配信、そして330-Aニュースの発行と新鮮な情報発信のお手伝いできたと感じています。閉塞感漂う中、ポジティブな仲間と活躍の場その機会(opportunity)を与えてくれた、LC330-A地区に改めて感謝したいと思います。

アドバイザー L 赤尾 嘉晃

もともと今期は自クラブのクラブ幹事を務める予定でした。ところが、進藤ガバナーから直接キャビネット副幹事の打診を受け、お受けすることになりました。会長予定者の方も「それは名誉なことだから」と快く送りだして下さいました。想像していたキャビネット副幹事の業務と例えば、ガバナーの取り巻きの飲み会要員と勝手に思っていました。しかし、コロナ禍の影響もあり、飲み会はほぼ皆無でした。そして、副幹事の仕事は非常に地味でした。担当リジョンのリジョンチェアパーソンに電話する手が「怖い人だったらどうしよう。」と震えたのがつい昨日のここのようです。印象に残ったことは、広報ITクラブサクセス委員会に担当副幹事となったことです。機械オンチの私にとって気の重い委員会でありました。しかし、メンバーの皆様は熱心で素敵な方ばかりで、キャビネット運営の裏側やライオンズの奉仕活動の楽しさに一番身近に触れることが出来ました。キャビネット副幹事はとても地味でタイトな役職でした。しかし、自クラブの運営のヒントがたくさん詰まっている役職でもあります。自クラブに戻ったときに少しは成長した姿を見せられる、と勝手に思っております。



担当副幹事 L 阿部清彦

ポリティカル・コレクティブネス糾弾(森元首相追放、オリンピック演出家粛清)がグローバルスタンダードにむかえば、日本文化は破壊され、言論の自由は封殺され、平和と自由を守る民主主義の社会奉仕は葬られると感じてしまう1年でした

アドバイザー L 吉岡 晋





【編集後記】

今期は期首より「ウィズコロナ」と「アフターコロナ」が叫ばれ、従来通りのアクティビティをはじめ、人と人が何かフィルターを通して、気持・意見を相手に伝えることを余儀なくされた一年でもありました。ある意味「デジタル化を押し進める」当委員会にとっては追い風で、第一回キャビネット会議から「リアルと Zoom を併用」し、今まで実行する事が難しいと思われる事案を「デジタル」を駆使し、今日まで大きな混乱もなく迎えて参りました。これもひとえにキャビネット関係者及び 330-A 地区 LC メンバー皆様のご尽力の賜物で御座います。

しかしその反面、「Face to Face で直接会う必要性」を再認識した事も事実です。

ライオンズクラブは、「グッド・スタンディング」である限り、自由な意思表示が平等に認められており、特権階級は存在しません。しかし役職上の権限は尊重され、ライオン歴には敬意が表されますが、あくまでも全員が平等の「一会員」で有ることが前提です。多少の方向性に違いが有るのは当然ですが、匿名の文面で一個人を否定・非難・批判する事は奉仕者である前に、まず人として今一度自分の足元から正して頂きたい。之は今期、紙面の発行責任者としての願いです。

最後になりますが、委員会活動にご協力頂きました 330-A 地区 LC メンバー各位に感謝申し上げます。また、当委員会のメンバーの皆様があってこそ此処まで大きな事故もなく終える事が出来ました。感謝申し上げます。引き続き、お力をお貸し頂ければ幸いです。

広報・IT・クラブサクセス委員会 委員長 L 坂本純一

今期広報・IT・クラブサクセス委員会メンバーのご紹介

L 坂本純一	委員長	東京三鷹 LC	L 藤田紘子	委員	東京ヒルズ LC	L 花堂浩一	委員	東京中野 LC
L 小野健志	副委員長	東京ピース LC	L 茂岡幹弥	委員	東京白門 LC	L 根岸雅也	委員	東京八王子いちよう LC
L 細田未央	副委員長	東京表参道 LC	L 石橋卓磨	委員	東京稲門 LC	L 匂坂淳	委員	東京八王子高尾 LC
L 桂太郎	副委員長	東京世田谷 LC	L 赤川緋沙子	委員	東京ウイル LC	L 吉岡晋	アドバイザー	東京けやき LC
L 石田賢	副委員長	東京三鷹 LC	L 千葉信一郎	委員	東京渋谷 LC	L 赤尾嘉晃	アドバイザー	東京豊新 LC
L 伊藤晶美	委員	東京葵(魁支部) LC	L 新井大介	委員	東京新宿 LC	L 津守勝男	アドバイザー	東京大森 LC
L 河田淳一	委員	東京平成 LC	L 三代勝之	委員	東京スバル LC	L 荒牧智子	オブザーバー	東京 LC
						L 阿部清彦	担当副幹事	東京新宿 LC